

第1期
南陽市まち・ひと・しごと創生総合戦略
総括(案)

南陽市みらい戦略課

令和3年7月

1 はじめに

第1期南陽市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「第1期総合戦略」という。)は、南陽市人口ビジョンに基づく将来展望の実現のため、若者等の各世代が市内に住み続けながら働くことのできる環境をつくとともに、女性が住みやすく安心して子どもを産み・育てることのできる環境や利便と安全を備えた地域づくりにより、住みたくなる南陽市を実現するために、平成27年9月に策定いたしました。

その後、6回の計画見直しを経て、計画期間が令和2年度で終了したことから、この度、総括を行うものです。

2 南陽市人口ビジョンの総括

計画期間における人口推移(国勢調査ベース)

| | 平成 22 年(基準年) | 平成 27 年 | 令和 2 年 |
|-------------------|---------------|-------------------|------------------|
| 市独自推計人口 | 33,658 | 31,998 | 30,471 |
| 国立社会保障人口問題研究所推計人口 | 33,658 | 31,941 | 30,250 |
| 実績値 | 33,658 | 32,285 | 30,437 |
| 独自推計と実績値の差分 | 0 | +287人 (+0.89%) | ▲34人 (▲0.12%) |

※令和2年実績値は、令和2年国政調査の速報値

計画年度である令和2年の人口については、国立社会保障人口問題研究所推計は上回ったものの、市独自推計をわずかに下回りました。なお、平成27年人口が推計より上振れた理由については、寿命の延伸による人口減少トレンドの後方シフトによるものと考えております。

3 数値目標等に係る総括

全体の数値目標値等を総括いたします。

基本目標1:若い世代が安心して働けるための産業振興及び農業振興と雇用の創出

基本目標2:希望に応じた結婚、出産、子育て、働き方ができる環境づくり

基本目標3:定住の促進と安全で安心な地域づくり

| | 目標設定項目数 | 目標達成項目数 | 未達成項目数 | 目標達成の割合 (%) |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 基本目標1 | 23 | 11 | 12 | 48% |
| 基本目標2 | 9 | 3 | 6 | 33% |
| 基本目標3 | 19 | 6 | 13 | 32% |
| 合計 | 51 | 20 | 31 | 39% |

目標設定した項目(計画途中での廃止除く)の内、39%が達成できました。

全体としては、目標を達成できなかった項目が多い結果となりました。次葉から、個別の要因等を総括します。

4 基本目標ごとの総括

| |
|--------------------------------------------------|
| 基本目標 1 若い世代が安心して働けるための産業振興及び農業振興と雇用の創出 |
|--------------------------------------------------|

| 数値目標 | 基準値 | 目標値(R2) | 実績値(R2) |
|------------------------------------------------|------------------|-----------------|-----------------|
| 製造業の従業者数(従業者4人以上の事業所) <small>※工業統計調査より</small> | 2,990人 (H24) | 2,990人 | 3,160人 |
| 新規就農者数 | 10人 (H23~H27) | 20人 (H28~R2) | 38人 (H28~R2) |
| 年間観光客数 | 101万人 (H25) | 120万人 | 41万4千人 |

※年次標記は期間での目標値、その他は単年ごとの目標値

【総括】

製造業の従業者数及び新規就農者数は目標値を達成しており、産業振興及び農業振興へ施策の効果があったものと考えます。今後は、従業者や就農者の数だけではなく、その生産性や所得等についても合わせて向上を図り、稼ぐ力のある魅力的な地域にしていくことが必要です。

一方で、年間観光客数は伸び悩みました。団体旅行から個人旅行へのシフトなどが主な要因と考えておりますが、コロナ禍がそれに追い打ちをかける格好となっており、第2期総合戦略等での新たな取組が必要となっています。

方針1:産業の活性化や起業・就業等の人的支援等により雇用の確保・拡充を支援する。

[KPI]

| 指標 | 基準値 | 目標値(R2) | 実績値(R2) |
|---------------|-------------|-----------------|-----------------|
| 工業団地への企業誘致数 | 0社 (H26) | 2社 (H27~R2) | 2社 (H27~R2) |
| 本社機能移転企業の雇用者数 | 0人 (H27) | 30人 (H28~R2) | 13人 (H28~R2) |

| | | | |
|------------------------------------------------------------|-----------------------------|----------------------|----------------------|
| 採用者(中途含む) | 217人 (H26) | 220人 | 172人 |
| 新規就農者数 | 10人 (H23~H27) | 20人 (H28~R2) | 38人 (H28~R2) |
| 内ぶどう生産者数 | 0人 (H27) | 5人 (H29~R2) | 17人 (H29~R2) |
| インターンシップ体験者の就職者数 ※インターンシップ体験者=学生、地元出身者のUターン者、I・Jターン者を含む | 0人 (H27) | 24人 (H28~R2) | 30人 (H28~R2) |
| 間伐材搬出量 | 296 m ³ (H29) | 1,000 m ³ | 2,187 m ³ |
| 林業事業体新規雇用者数(人) | 1人 (H29) | 1人 | 0人 |
| 市支援の起業数 | 0社 (H26) | 3社 (H27~R2) | 3社 (H27~R2) |

※年次標記は期間での目標値、その他は単年ごとの目標値

【総括】

梨郷工業団地(2区画)は完売し、市が支援した起業数についても目標値(3社)を達成しました。本社移転企業の誘致にも成功したことからも、取組の成果があったと考えます。

また、農林業についても、新規就農者の数や林業関係のKPIが概ね達成できたことから、全体として方針は達成されたと考えます。

今後は、新たな産業団地の造成による更なる企業誘致や、農地のマッチングの課題(就農希望者と農地のアンマッチ解消)に取り組み、一層の産業振興に努めます。

方針2:地場産業の拡大による地域の活性化を促進する。

[KPI]

| 項目 | 基準値 | 目標値(R2) | 実績値(H30) |
|---------------------------------|--------------------|---------|-----------|
| 市内総生産 (第一次産業) ※市町村民経済計算より | 47億6100万円 (H23) | 51億円 | 50億4500万円 |

【総括】

市内総生産額(第一次産業)は市町村民経済計算の数値を使用しているため、現年分(令和2年度)の実績値は2年程度遅れて把握される(令和4年度ごろ)こととなります。平成30年度実績値は目標値(令和2年度)にはやや届いておりませんが、基準値(平成26年度)からは増加傾向にあることから、取組の成果があったものと考えております。

方針3:地域の資源を活かして魅力のある観光、活力のある地場産業をつくる。

[KPI]

| 項目 | 基準値 | 目標値(R2) | 実績値(R2) |
|--------------------------------------------------------------------|-------------------|----------|------------------|
| 桜・バラ・菊のイベント等参加者 | 150,310人 (H26) | 200,000人 | 37,000人 |
| 森林づくり参加者 | 1,409人 (H26) | 2,000人 | 1,086人 |
| DMOの旅行業等による売上額 | 11,817千円 (H30) | 53,791千円 | 15,932千円 |
| DMOの旅行商品催行数 | 78件 (H30) | 169件 | 219件 |
| DMOの取扱いによって宿泊を伴う旅行をした人数 | 50人 (H30) | 269人 | 458人 |
| DMO会員数 | 62件 (H30) | 102件 | 56件 |
| 赤湯駅利用者(定期外) <small>※フラワー長井線含む。東日本旅客鉄道(株)及び山形鉄道(株)資料による。</small> | 235,000人 (H25) | 240,000人 | 217,000人 (R1) |
| 赤湯温泉利用客数 <small>※ハイジアパーク除く</small> | 263,000人 (H26) | 280,000人 | 118,800人 (R1) |
| 外国人宿泊客数 | -(H26) | 2,000人 | 0人 |
| 観光施設への無料Wi-Fi設置件数 | 0件 (H26) | 2件 | 2件 |
| 車イス補助用具利用人数 | 0人 (H26) | 5人 | 86人 |

※赤湯駅の利用者は、東日本旅客鉄道(株)及び山形鉄道(株)資料による。

【総括】

観光関係の KPI については、コロナ禍により大幅に目標を下回る項目が多く、終息後に備えた施策の検討や、新たな日常(ニューノーマル)を踏まえた次なる取組が必要です。

なお、赤湯温泉利用客数の目標未達成については、旅行の形態が団体から個人へ変わってきたことが大きな要因であると考えられます。客数を増やすことではなく、客単価を上げることで、少人数の客数でも利益を上げられるように旅館そのものが変化してきていることから、当該 KPI については第1期で完了とします。

また、地域連携 DMO については、従来の南陽市、長井市、白鷹町、飯豊町に加え、令和3年度より小国町が加わったことで、第2期総合戦略においては広域観光の一層の充実を図ります。

基本目標 2

希望に応じた結婚、出産、子育て、働き方ができる環境づくり

| 数値目標 | 基準値 | 目標値(R2) | 実績値(R2) |
|---------|---------------|---------|--------------|
| 合計特殊出生率 | 1.44 (H25) | 1.57 | 1.46 (R1) |

※年次標記は期間での目標値、その他は単年ごとの目標値

【総括】

合計特殊出生率は、平成 25 年度(1.44)～平成 30 年度(1.53)にかけて微増傾向にあったものの、令和元年度は大きく減少(1.46)し、令和 2 年度～3 年度にかけてもコロナ禍により厳しい数値となると見込んでいます。

合計特殊出生率は、社会的な要因により大きく左右される項目です。今後も目標を見据えた出会いの支援、子育て、教育の環境整備に地道に取り組むことが、数値の向上に繋がると考えます。

方針1:若い世代の交流と出会いの機会をつくる。

[KPI]

| 項目 | 基準値 | 目標値(R2) | 実績値(R2) |
|-------------|-----------------------|---------|---------|
| 市主催のお見合い件数 | 24 件 (H20～H26 の平均) | 30 件 | 34 件 |
| 市主催の講習会参加者数 | 25人 (H26) | 30人 | 19人 |

【総括】

市主催の講習会参加者数の目標未達成については、コロナ禍による講習会の中止による影響であり、市主催のお見合い件数の KPI 目標は達成されていることから、若い世代の出会いと交流に対して支援ができたものと考えております。

コロナ禍を踏まえ、今後しばらくはイベント開催による多人数への働きかけではなく、個人のお見合いとそのサポートに力を注ぎ、結婚、子育て施策へと繋がります。

方針2:安心して妊娠、出産しやすい環境をつくる。

[KPI]

| 項目 | 基準値 | 目標値(R2) | 実績値(R2) |
|---------------|--------------|---------|---------|
| 特定不妊治療助成者の数 | 12人 (H26) | 16人 | 10人 |
| 3人っ子妊娠確定前診療者数 | 0人 (H26) | 50人 | 25人 |

【総括】

KPI は未達成ですが、少子化による利用件数の減少や年度間の増減が大きい項目でもあるため、今後とも制度の存在を広く PR し、必要な人に必要な支援が届くよう努めます。

方針3:安心して子育てできる環境をつくる。

[KPI]

| 項目 | 基準値 | 目標値(R2) | 実績値(R2) |
|-------------------------|--------------|---------|-------------------------|
| ハイジアパーク南陽の遊具利用者 | 0人 (H26) | 18,000人 | 6,245人 |
| 第3子以降出生数 | 41人 (H26) | 前年+1名 | 39人 (R2.1~ R2.12) |
| 南陽市公式FB「いいね」数※子育て支援情報のみ | 0件 (H26) | 2,000件 | 0件 |
| 高齢者・ジュニアリーダー等の地域の先生の数 | 76人 (H26) | 300人 | 440人 |

※年次標記は期間での目標値、その他は単年ごとの目標値

【総括】

第3子以降の出生数は、令和元年(32人)から令和2年(39人)にかけて増加しております。コロナ禍により、いったん数値は下がると予想しておりますが、今後も第3子以降の出生数を増加させる取組を進めます。

なお、ハイジアパーク南陽の遊具利用者については、ハイジアパーク南陽の運営が令和2年度末で終了したことから、第2期総合戦略では当該 KPI を削除します。

また、南陽市公式 FB「いいね」数については、コロナ禍により令和2年度のすこやか子育て相談事業を中止したため、投稿ができなかったことで実績は0件となっております。第2期総

合戦略では、南陽市公式 FB「いいね」数に代わり、幅広く市民への情報提供に資する項目である「南陽市公式 LINE 登録者数」を KPI として設定し、子育て支援情報等の発信に努めます。

なお、高齢者・ジュニアリーダー等の地域の先生の数については、放課後子ども総合プランの事業が軌道に乗ったことで目標を達成しており、当該事業の安定的な継続のため、引き続き先生等の確保に取り組めます。

基本目標3

定住の促進と安全で安心な地域づくり

| 数値目標 | 基準値 | 目標値(R2) | 実績値(R1) |
|--------------------|----------------|---------|---------|
| 住みやすいと感じる人の割合 | 60.6% (H27) | 65.0% | 68.3% |
| これからも住み続けたい人の割合 | 68.4% (H27) | 70.0% | 69.8% |
| 将来住み続けたいと考える中学生の割合 | 49% (H27) | 60% | 56.8% |

※年次標記は期間での目標値、その他は単年ごとの目標値

【総括】

住みやすいと感じる人の割合及びこれからも住み続けたい人の割合は、ほぼ目標値を達成しておりますが、市の将来を担う中学生の将来住み続けたいと考える割合は、目標値に対して実績値が低くなっております。

第6次南陽市総合計画策定に係る市民ワークショップでは、愛郷心をいかにして育てるかが議題に上がりました。総合戦略における取組はもちろんですが、子どもが地域に出て、地域を知り、地域に残りたいと思う気持ちを自然に醸成する環境づくりを、第6次南陽市総合計画前期基本計画においても検討します。

方針1:定住を促進する魅力的な住環境の整備を支援する。

[KPI]

| 項目 | 基準値 | 目標値(R2) | 実績値(R2) |
|-------------------------|-------------|---------|---------|
| Uターン定住世帯(子育て応援定住交付金による) | 0件 (H26) | 8件 | 3件 |
| 空き家バンク登録家屋の売買等成約件数 | 0件 (H26) | 5件 | 9件 |

【総括】

Uターン定住世帯数については伸び悩んでいるものの、空き家バンク登録家屋の売買等成約件数は目標値を大幅に上回る数値となっています。

施策の理想としては、空き家への定住(Uターン移住)ではあるものの、移住定住の推進と空

き家問題(空き家対策)を必ずしも同列では捉えず、それぞれにおいてニーズを把握し、適切な施策展開を図ります。

方針2:安全で安心な地域づくりを推進する。

[KPI]

| 項目 | 基準値 | 目標値(R2) | 実績値(R2) |
|------------------|----------------|------------------|---------|
| 除雪オペレーター講習会の受講者数 | 0 (H26) | 25人 | 4人 |
| 災害時応援協定(自治体) | 1自治体 (H27) | 3自治体 (H27~R2) | 1自治体 |
| 自主防災組織率 | 84.1% (H26) | 100% (R2) | 98% |
| 防災士 | 4名 (H27) | 4名 | 0人 |
| LED防犯灯設置率 | 8% (H26) | 68% (H27~R2) | 73.1% |

※年次標記は期間での目標値、その他は単年ごとの目標値

【総括】

除雪オペレーター講習会受講者については、令和2年度はコロナ禍の開催となったため、大幅に人数を制限したことから目標未達成となっておりますが、積雪量が多かった平成30年度は40名の参加があり、取組は効果があったものと考えます。

災害時応援協定については目標値を達成してはいないものの、災害時における自治体間の対口システムが構築されたことで、協定を結ばずとも他市町村の協力が得られるため、今後はその必要性において防災の観点のみならず、観光面なども含めた多面的な交流を念頭に検討します。

防災士についてはコロナ禍により達成できなかったものの、令和元年度以前は毎年度目標値(4人)を達成していたことから、KPI はほぼ達成したと考えております。今後は、防災士の活用や自主防災組織の横の繋がりを構築することで、市民の安全・安心のため更なる防災力向上を図ります。

方針3:人材育成等により地域の魅力を高め、発信する。

[KPI]

| 項目 | 基準値 | 目標値(R2) | 実績値(R2) |
|--------------------------|---------------------|----------------|----------------|
| 南陽市公式FB「いいね」数 | 5,373件 (H26) | 50,000件 | 47,442件 |
| ふるさと納税申込数 | 389件 (H26) | 31,000件 | 30,556件 |
| 県外からの新規移住者世帯数 (転勤を除く) | 5世帯 (H30) | 9世帯 | 11件 |
| 移住相談窓口(市)への年間相談件数 | 5件 (H30) | 9件 | 68件 |
| 地域おこし協力隊の定住数 | 0人 (H26) | 3人(H27~ R2) | 1人 |
| 地域おこし協力隊の隊員数 | 1人 (H27) | 5人(H27~ R2) | 6人 (H27~R2) |
| 公民館利用者数 | 118,478人 (H26) | 119,000人 | 38,714人 |
| 体育施設利用者数 | 141,341人 (H26) | 150,000人 | 92,893人 |
| 文化会館利用者数 | 13,457人 H26旧市民会館 | 120,000人 | 37,131人 |

【総括】

南陽市公式 FB「いいね」数については、コロナ禍の影響によりイベントが減ったことによる目標未達成となっておりますが、令和元年度値(56,454件)は目標値を達成していました。

また、コロナ禍により、移住の相談件数や移住世帯数は増えており、地域おこし協力隊の数も、総数は増加傾向にあります。

今後は、地域おこし協力隊の制度を活用した更なる地域振興や、移住者が地域に溶け込み、地域を支える人材となるような取組を進めるとともに、既存の社会教育施設の有効活用も図ることで、移住した世帯の満足度の向上と更なる移住者の呼び込みに努めます。